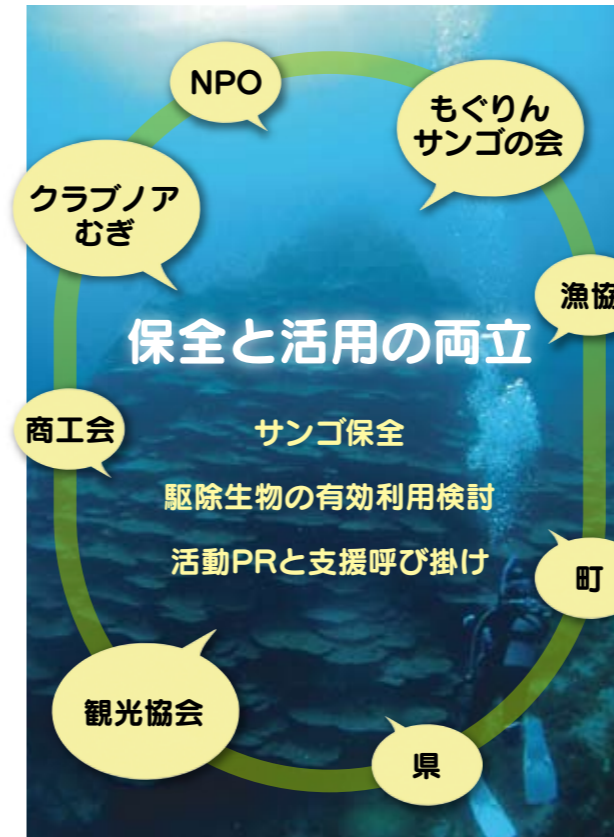


千年サンゴと活きるまちづくり協議会



千年サンゴと活きるまちづくり協議会は、平成23年7月15日に地域の住民や団体、行政等が協働して千年サンゴを守る活動をすすめながら、豊かな自然を活かし、地域活性につなげることを目的に設立されました。保全活動や地域づくり、PR活動を行っています。

みなさんがいっしょに取り組んでこそ「サンゴもまちも元気になる」ことができます。是非、協議会の活動にご協力ください。

継続的に保全活動を実施する必要があることから、協議会では、活動経費を支援していただける方(サポーター)を募集しています。

協議会へのお問い合わせ
 事務局 〒774-0011 徳島県阿南市領家町野神319
 徳島県南部総合県民局 保健福祉環境部(阿南) 環境担当
 TEL:0884-28-9858



千年サンゴを守りましょう



～オニヒトデ・サンゴ食巻き貝による被害～

近年、海水温の上昇から、以前まで繁殖する事ができなかった生物が通年生育出来る環境になってきています。なかでもサンゴを食べるオニヒトデが、急激に増え始め、大島周辺のサンゴに大きな被害をもたらしています。オニヒトデは、サンゴを食べる動物です。さらにサンゴ食巻き貝も増えはじめ、白骨化するケースが多くなっています。



オニヒトデとは？
 全身が有毒のトゲで覆われているヒトデです。オニヒトデは、サンゴに覆い被さり、口から胃を反転させて外に出し、消化液を分泌してサンゴの軟体組織を溶かして吸収します。

～なぜ、サンゴを保護しなければいけないの？～

サンゴのすき間は、小さな生物の隠れ場所として都合がよいので、サンゴの周りには、スズメダイなどの小さな魚類や、エビ、カニなどの甲殻類、タコやナマコなど多種多様の多くの生物が生息しており、さらに、これらを補食する大型の魚なども集まってきます。サンゴを守ることは、海の生き物を保護することになります。

～千年サンゴを守ろう～

牟岐大島に生息する千年サンゴは、日本最大級、最長寿と推定され、希少価値があります。この貴重な自然財産を守るため、協議会では、地元ダイバー等の協力を得ながら、オニヒトデやサンゴ食巻き貝の駆除活動を行っています。あなたも一緒に、この貴重なサンゴと豊かな海を守りましょう！

四国のサンゴ 千年サンゴの仲間たち

① 大島
海岸防食防止のために設置した海岸線のコンクリートブロックにサンゴが生息している。

② 竹ヶ島
縦長に伸びた島。島全体がサンゴで覆われている。高さ10mに及ぶ巨大なハマサンゴがある。

③ ふるさと海岸
指定有形文化財(天然記念物)指定。指定による(天然資源活用委員会)がこのサンゴ群集を利用した町興しに取り組んでいる。

④ 大手の浜
以前は美しい緑色のエダミドリイシ(上)が主体の群集だったが、近海、内海化が進みカワサンゴ(下)が増えた。徳島県主導で自然再生事業が行われている。

⑤ 横濱海実験所
指定された(徳島県立)徳島大学が、研究の活動拠点として利用できる「横濱海実験所」が開設された。現在は美しいサンゴ群集が広がっている。

⑥ 矢井賀
歴史的背景「多岐漁港」の南側にサンゴ群集が広がる。2017年と、マリーナ建設のため埋立ての危機にあったが「大手の浜」の調査により明らかになった。近年は漁りがひどく、対策が講じられている。

⑦ 松尾
足腰の先達村。波当たりが強いところは硬質状や小型で又美な形状のサンゴが多い。

⑧ 大浜
群集の「クハミドリイシ」が中心とした美しいサンゴ群集が広がっている。

⑨ 電串
海中公園1号地には、典型的な回遊の外洋性サンゴ群集が現れる。2-3種類のサンゴが繁茂し、産業廃棄物で自然再生事業が実施されている。

⑩ 榎西海岸
「見出し」には天然記念物に指定されている巨大な「シロサンゴ」がある。

⑪ 古満自
高さ3m近い「ハナガササンゴ」の巨大群集がある。

⑫ 野地島・当木島
内洋性の「シロサンゴ」が数百mにわたって発生している。

⑬ 沖ノ島
波当たりが強いところには小型でがっしりとしたサンゴが、波の穏やかな所では傘状ミドリイシが群集する。寒熱帯性の生物が多い。

⑭ 須ノ川
流すの串・枝状ミドリイシ群。流すのシロサンゴやキクメイシ類という典型的な回遊性のサンゴ群集が見られる。

⑮ 鹿島・横島
魚類は「エンタクミドリイシ」が多い。

⑯ 須ノ川
横島はソフトコーラルの宝庫。

⑰ 田之浜
流すの串・枝状ミドリイシ、やや深所に「エダミドリイシ」の群集がある。

⑱ 白浜・黒崎
「シロサンゴ」が優占するやや内洋性のサンゴ群集。